

広報ふたば



【表紙写真】

人と地域をつなぐ

働く拠点の中核施設・・・

(双葉町産業交流センター起正式)



町民の皆さまへ

5月には新たな天皇陛下が御即位されるとともに新元号のもと次の時代の幕開けとなりました。

新しい年度の始まりとなった4月1日には新元号が「令和」に決定しました。日本最古の歌集である万葉集からの出拠により新元号に選ばれた「令和」には、厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅のように、一人ひとりの日本人が明日への希望とともにそれぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいとの願いが込められているということで、町への帰還を目指していく双葉町も心新たに令和の時代とともに歴史を刻んでいきたいとの想いを強くいたしました。

また、4月1日にはいわき事務所において職員辞令交付式を行いました。新規採用職員4名、福島県より派遣職員3名が加わり業務を開始しました。

さらに、今年度も引き続き神奈川県、富山県黒部市、新潟県柏崎市、福井県敦賀市、茨城県北茨城市、かすみがうら市、石岡市より町の現状をご理解いただき、町の復旧・復興と町民の皆さんの生活支援などの課題解決のために職員を派遣していただきました。改めて厚く御礼を申し上げます。派遣職員の中には、双葉町へ支援職員として来るのは2度目という方もおり、震災がなければこのような出会いはなかったのではないかと感慨深く感じております。

職員に対しては、一人ひとりがさらなる高みを目指し、レベルアップすることが町

の復興につながるので、初心を忘れず2022年春の双葉町の特定復興再生拠点区域の避難指示解除を目標に職員が一丸となって取り組むよう訓示したところであります。

4月8日にはサクラの花がほころぶ中、いわき市錦町の仮設校舎で小・中学校の入学式が行われました。小学生5名、中学生1名が緊張した面持ちで新たに入学しました。同日には、ふたば幼稚園の入園式が仮設園舎で行われ、新しく3名の園児が入園しました。今年度からは新たに幼稚園長を配置し、将来の双葉町の復興を担う子どもたちを双葉町の幼稚園、小・中学校でしっかりと育てるため、少人数教育ならではのきめ細かい特色ある教育を実践し、個に応じた教育やふるさとを忘れないための学習を一層充実させてまいりたいと考えております。また、人事異動により転入された教職員の中には双葉町出身の方も多く、心強く感じているところです。

校舎内に子どもたちの元気な声が響き、はつらつと活動する姿を見るたびに子どもたちの未来に期待が一層高まります。

4月16日には、双葉町産業交流センターの安全祈願祭・起工式を中野地区において執り行いました。地権者の皆さまのご理解とご協力のおかげであると心から感謝申し上げます。工事の安全を祈りました。産業交流センターは町の復興のシンボルとなる施設であり、目に見える形で復興が進んでいくことをうれしく思うとともに緊張感を持って事業を進めてまいりたいと考えております。

双葉町長 伊澤 史朗

双葉町に整備する住宅について 6/2座談会を開催いたします。



皆さまのご意見を
お聞かせください

日頃より町復興の各施策に特段のご理解とご協力をいただきありがとうございます。

双葉町では、町の復興に向けて町民の皆さまのご意見をいただきながら各施策の推進に取り組んでいます。

2022年春の特定復興再生拠点区域全域の避難指示解除目標に合わせて、双葉駅西地区に公営住宅を整備します。皆さまのご意見・ご要望をお伺いするため、右記の日程で座談会を開催いたします。

電話、メールのいずれかの方法で5月24日(金)までにお申込みください。

必要情報：氏名・年齢・住所・電話番号

参加者募集
参加無料！



■令和元年6月2日(日) 10:00～11:30
双葉町いわき事務所2階大会議室

住 所：福島県いわき市東田町2丁目19-4
電 話：0246-84-5200

■令和元年6月2日(日) 14:00～15:30
復興公営住宅勿来酒井団地 集会所

住 所：福島県いわき市勿来町酒井青柳8-2

【問い合わせ・申込み先】

復興推進課 ☎ 0246-84-5203

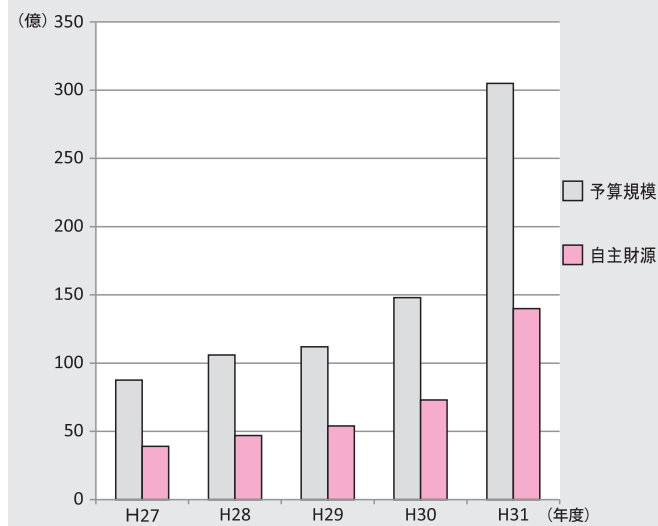
メール：fukko@town.futaba.fukushima.jp

平成31年度の当初予算が決まりました

一般会計当初予算額は前年度対比157億円（106.1％）増の305億円となりました。

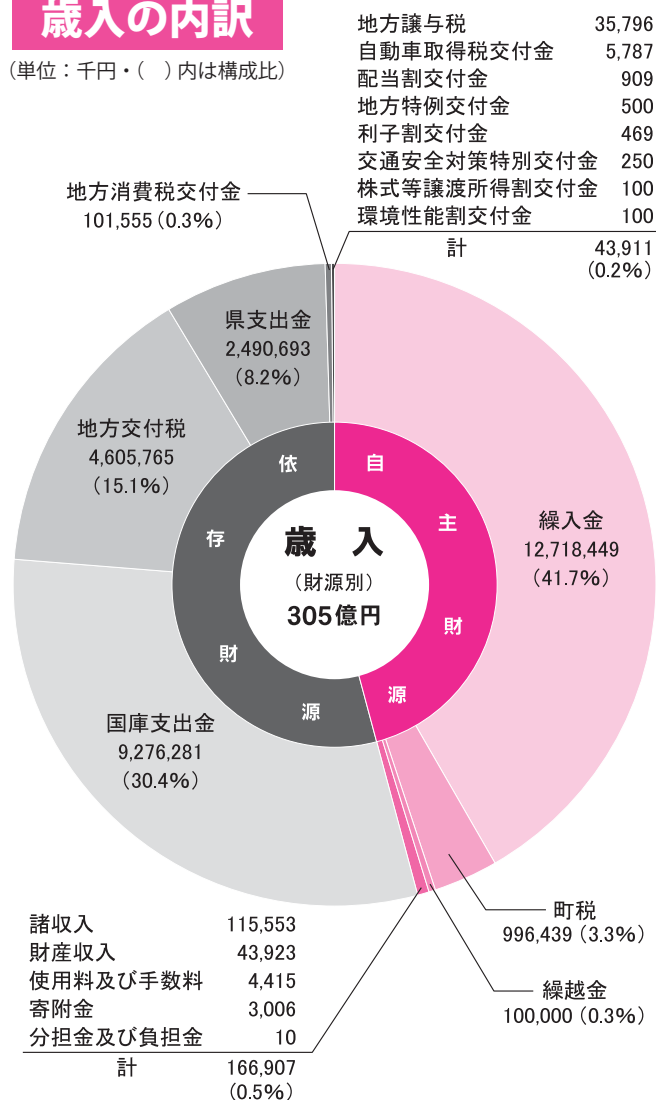
国民健康保険特別会計などの5特別会計の予算額が29億5017万円となり、一般会計と特別会計の総額は、334億5017万円となりました。

一般会計当初予算規模の推移



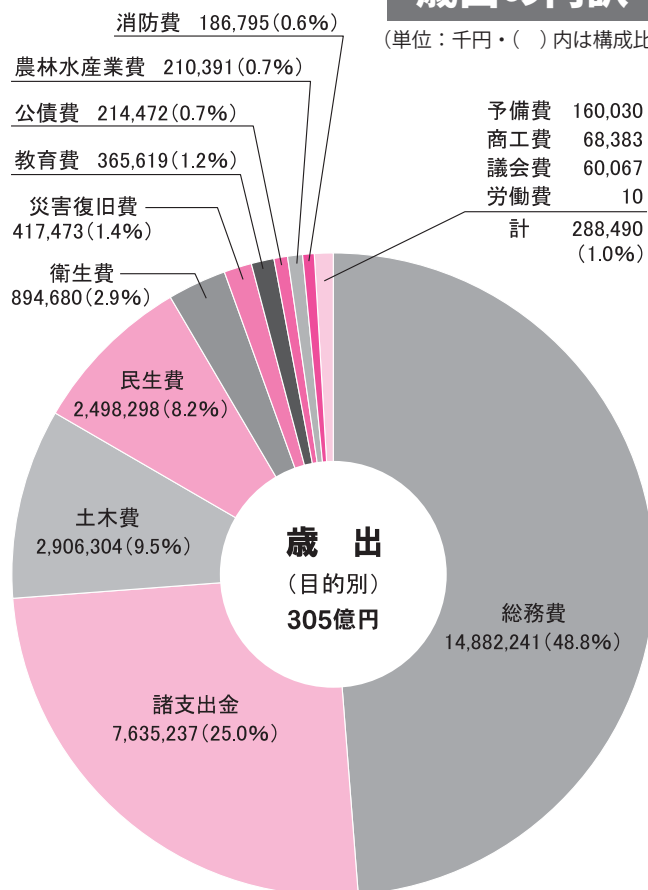
歳入の内訳

(単位：千円・()内は構成比)



歳出の内訳

(単位：千円・()内は構成比)



平成31年度双葉町特別会計当初予算 (千円)

会計	本年度予算額	前年度予算額	差額	比較
国民健康保険特別会計	1,333,425	1,286,879	46,546	3.6%
公有林整備事業特別会計	3,467	4,108	-641	-15.6%
公共下水道事業特別会計	542,016	244,572	297,444	121.6%
工業団地造成事業特別会計	0	2,164	-2,164	-
介護保険特別会計	988,974	1,068,117	-79,143	-7.4%
後期高齢者医療特別会計	82,288	102,876	-20,588	-20.0%
計	2,950,170	2,708,716	241,454	8.9%

主要事業について

インフラ整備



常磐自動車道追加インターチェンジ整備事業
 …………… 1,932,305千円
 中田・観音堂線整備事業 ……… 308,513千円
 前田・長塚線整備事業 …………… 37,527千円
 町道等補修事業 …………… 73,000千円

交流支援

行政区総会開催助成金事業 …………… 1,190千円
 敬老会事業 …………… 2,837千円
 町民交流施設運営事業 …………… 24,849千円



集まれふたばっ子事業 …………… 8,166千円
 絆スポレクふたば補助金事業 ……… 4,647千円

生活支援

生活サポート補助金事業 ……… 786,720千円
 双葉町次世代支援補助金事業 …… 21,900千円
 就園就学援助 …………… 52,253千円



健康・福祉



高齢者等サポート拠点設置事業 … 64,782千円
 総合健康診査業務 …………… 28,483千円
 予防接種業務 …………… 15,811千円
 尿による内部被ばく検査業務 ……… 4,286千円
 甲状腺検査業務 …………… 1,932千円

平成31年度

中野地区・駅西地区拠点整備

産業交流センター建築工事 …… 698,736千円



中野地区復興産業拠点整備事業
…………… 2,881,751千円

太陽光発電設備設置工事 …… 304,480千円

双葉駅西地区住宅団地等整備事業
…………… 1,530,603千円

双葉駅自由通路等整備事業 …… 1,473,682千円



地方消費税交付金（社会保障財源分）の 使途について

平成26年4月1日より消費税率が5%から8%に引き上げられたことに伴い、地方消費税交付金の増収分については、その使途を明確化し、社会保障施策に要する経費に充てることとされています。平成31年度双葉町一般会計予算における社会保障施策関連経費への充当は、社会福祉事業19,510千円、社会保険事業17,378千円、保健衛生事業6,583千円の予定となっております。

防犯防災・鳥獣被害対策

双葉町内防犯・防災パトロール事業
…………… 275,040千円

防犯・防災総合システム事業 …… 77,751千円



地域防災計画等改定事業 …… 17,000千円

有害鳥獣被害対策事業 …… 8,747千円

ニホンザル行動域・個体数調査業務 …… 4,767千円

農林業・商工

営農再開支援事業 …… 13,056千円

営農再開ビジョン策定事業 …… 35,623千円

危険木除去・調査業務 …… 3,333千円

双葉町の祭り・イベント事業補助金 …… 5,258千円



双葉町観光復興再生事業補助金 …… 7,137千円

中野地区復興産業拠点内 双葉町産業交流センターの起工式が行われました

復興の要となる シンボル施設

4月16日、中野地区内において双葉町産業交流センター起工式が、町主催で行われました。

起工式には国、県、町の関係者や工事関係者などが列席し、伊澤史朗町長が式辞で「産業交流センターは多様な主体のニーズをつなぎ、交流と賑わいを生み出す施設として計画しています。町に新たな賑わいを生み出し双葉町の復興の一助となること、また本工事の安全を祈願いたします」と述べました。

続く来賓祝辞では、浜田昌良復興副大臣、磯崎仁彦経済産業副大臣兼原子力災害現地対策本部長、鈴木正晃県副知事、吉田栄光県議会議長、佐々木清一町議会議長より祝辞を賜りました。同センターは県のアーカイブ拠点施設



▲ 伊澤史朗町長による式辞

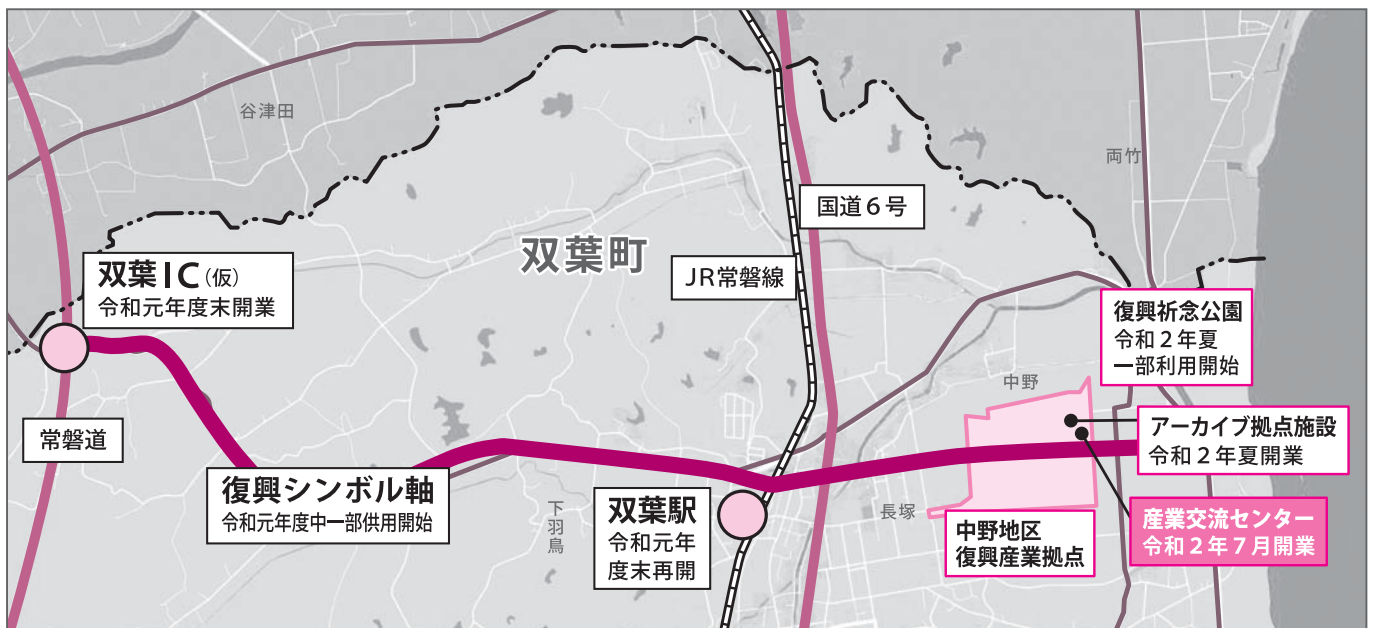


▲ 鍬入れの様子

設や、国や県が整備する復興祈念公園に隣接し、中野地区復興産業拠点における就業者や一時帰宅をする町民と、アーカイブ拠点施設、復興祈念公園への来訪者をつなぐ、復興の中核的拠点施設として整備されます。また双葉駅周辺の住む拠点や復興インターチェンジとを結ぶ復興シンボル軸の整備も行われています。

センターは地上4階建てで、1階には会議室・土産物店・フードコート・コンビニエンスストア、2階には貸事務所・レストラン・休憩室が整備され、3階、4階の貸事務所フロア上の屋上からは、町内の360度の展望を楽しむことができます。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開幕までに整備し、令和2年7月の開業を目標としています。



(※いずれも、目標)

中野地区復興産業拠点 内立地企業初の起工式 が行われました



3月25日、中野地区復興産業拠点で双葉中央アスコンの起工式が行われました。双葉中央アスコンは双葉町の双葉住コン(株)と東京都の大林道路(株)による共同企業体で、アスファルト合材を生産し町内のインフラ整備等に供給する予定です。

起工式には町関係者も出席し、伊澤史朗町長、佐々木清一町議会議長が祝辞を述べました。式の終了後、伊澤町長は「働く拠点の第1号の起工式ということで、ようやく双葉町の復興が進んできていると実感しています」と述べました。

一般社団法人ふたばプロジェクトの 設立社員総会が開催されました



3月28日、双葉町いわき事務所において、双葉町のまちづくり会社「一般社団法人ふたばプロジェクト」の設立社員総会が開催され、来賓として伊澤史朗町長、佐々木清一町議会議長が出席し、祝辞を述べました。同法人はコミュニティ支援事業、復興ツーリズム事業などの「つながる」事業、空家マッチングや移動販売事業などの「うみだ

基本理念・目的

官民連携・協働によるふるさとふたばの創生

- 民間と行政の協働による町民主体のまちづくりをけん引する
- 町民のための地域に根ざした事業を展開し、町の将来像に向けた魅力あるまちを創造する

「まちづくり会社」

す」事業、地域公共交通サービス事業や公設施設の管理運営などにより、次世代の双葉町を担う人材を育てる「はぐくむ」事業などの展開を想定しています。ふたばプロジェクトの伊藤哲雄代表理事は総会終了後「町民のニーズを吸い上げ、我々も常に変化していくようなプロジェクトチームにしていきたい」と述べられました。

温かいご支援を
ありがとうございます



4月1日、双葉町教育委員会事務局において、双葉警察署浪江分庁舎より交通安全グッズの贈呈が行われました。

贈られた交通安全グッズは、黄色いランドセルカバーや防犯ブザー、反射材や道路標識などが学べるファイル、定規等の交通安全への意識を高める文房具等です。

いただいた交通安全グッズは、子どもたちやご家族の交通事故防止に役立ててまいります。

～教育長メッセージ～

夢と希望のある「学び」へ

2019年は、『転機』の年。5月1日より元号が平成から令和に変わり、新天皇が即位されました。町立学校では、4月8日（月）に、幼稚園及び小・中学校の入園式、入学式、始業式を終え、新しい時代の教育活動を進めているところです。多くの双葉町の幼児、児童、生徒の皆さんも、それぞれの就学先で夢と希望に胸を膨らませ、学校生活を送っていることと思います。保護者の皆さま、そして家族の皆さまからの温かい励ましのお声がけをお願いいたします。

また、社会教育及び生涯学習に係る各自治会や婦人学級におきましても、新年度の組織並びに年間計画を策定され、心一つに活動がスタートいたしました。生涯学習・社会教育・学校教育に携わる人々が一体となって連携協力し、幼児期から義務教育、義務教育から生涯学習へと学びが連続的に繋がり充実するよう、教育委員会としましても、それぞれの場面でサポートしてまいりたいと思いますので、今後とも、ご理解とご協力の程よろしくをお願いいたします。

双葉町の教育基本計画における重点施策

2019年は、5年計画の第4年次として次に示す重点施策を推進して参ります。

【学校教育】

◎ めざす子どもの姿 常に目標を持ち 意欲的に 学び続ける子ども

子どもたちが、やがて社会人として成長したとき、地域やいろいろな職場から「求められる人材」に育てるため、幼児期から中学校までの学びが連続する教育活動を展開する。

【生涯学習】

◎ めざす町民の姿 生涯を通じて 健康で 学び続ける町民

町民が、「いつでも、だれもが」学びたいと思う環境をつくり、生涯にわたる豊かな学習活動とスポーツライフを支援する。

双葉町立学校（幼・小・中）の教職員への講話

新年度がスタートした4月4日（木）、双葉町立学校仮設校舎において、幼・小・中の教職員36人を対象として、『教育長講話』を行いました。東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所の事故から9年目を迎え、「双葉町の現状と町立学校の役割」というテーマで、次の視点で状況と情報を共有しました。

I 双葉町の現状

II 町立学校の役割と県内外に区域外就学している子どもたちとの絆

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ① 平成26年度に学校再開して6年目 | → 幼・小・中54人で新年度スタート |
| ② 児童・生徒理解の徹底 | → 管理職を中心に全教職員で対応 |
| ③ 少人数指導の良さとデメリットの把握 | → 共通理解を図り組織的な指導 |
| ④ 開かれた学校（内にも外にも） | → 幼小中の協力体制（報・連・相） |



双葉町教育委員会教育長 館下 明夫

双葉町立小・中学校教職員の 人事異動のお知らせ

お世話になりました

＜双葉南小学校から転出された先生方＞

敬称略

職 名	氏 名	転出先等
教 頭	石井 智明	福島県教育庁社会教育課
教 諭	関口百合子	いわき市立平第四小学校

＜双葉中学校から転出された先生方＞

敬称略

職 名	氏 名	転出先等
校 長	目黒 信浩	相馬市教育委員会

＜双葉北小学校から退職・転出された先生方＞

敬称略

職 名	氏 名	転出先等
校 長	堀内 弘志	退職
教 諭	中畑 真	南相馬市立八沢小学校
教 諭	中畑梨枝子	相馬市立中村第二小学校
教 諭	日和田貞子	広野町立広野小学校

平成31年度 双葉町立幼稚園・小・中学校教職員

人事異動により、平成31年度の双葉町立幼稚園、小・中学校教職員が次のように配置されましたのでお知らせいたします。

＜ふたば幼稚園＞

職 名	氏 名	備 考
園 長	堀内 弘志	
副 園 長	佐藤 大志	双葉町立双葉南小学校兼務
主任教諭	吉津 望美	
副主任教諭	山田 綾子	

＜双葉南小学校＞

職 名	氏 名	備 考
校 長	泉田 淳	
教 頭	佐藤 大志	広野町立広野小学校より昇任
教 諭	大井 祐子	いわき市立内町小学校より転任
教 諭	吉田 智子	
教 諭	佐々木裕太	
講 師	伊達 香織	
養護教諭	猪狩 優子	
英語指導助手	フィリップ ジェリーマン	

＜双葉北小学校＞

職 名	氏 名	備 考
校 長	松本美穂子	いわき市立永崎小学校より昇任
教 頭	廣居 亮	
教 諭	星 千尋	
教 諭	高野 正美	広野町立広野小学校より転任
教 諭	長谷川 俊	棚倉町立棚倉小学校より転任
教 諭	山野辺紋子	新採用
養護教諭	永山 有美	
主 事	小沼 綾奈	
栄養技師	安瀬 英未	
学習支援員	添田久美子	
学習支援員	鈴木 未央	
学習支援員	吉田亜希子	新採用



お世話になります

＜双葉中学校＞

職 名	氏 名	備 考
校 長	西丸 賢	いわき市立小名浜第一中学校より昇任
教 頭	柳沼 敏文	
教 諭	畑中 豊	
教 諭	伊藤 要子	
教 諭	小泉 尚久	
教 諭	小野美佳子	
教 諭	蓬田 信裕	
教 諭	小泉 久枝	
教 諭	原田 聡	
主 査	遠藤美保子	
英語指導助手	アンソニー バラード	

＜1園3校共通＞

職 名	氏 名	備 考
スクール カウンセラー	比佐 淳一	
用 務 員	菊地 安	

ご入学おめでとうございます

町立小・中学校入学式

4月8日、町立小・中学校合同入学式が町立学校仮設校舎体育館で挙行されました。新入生は在校生や保護者、教職員、来賓の方々が見守る中、やや緊張しながらもしっかりとした足どりで入場しました。国歌斉唱に続き、南小学校2人、北小学校3人、中学校1人の新入生が呼名を受け、泉田淳南小学校長が新入生に向けて「今日のようにまわりの人に心から感謝する気持ちを忘れないでください」と式辞を述べました。館下明夫教育委員会教育長が教育委員会告辞を行い、伊澤史朗町長、佐々木清一町議会議長が祝辞を述べました。

続いて南小学校6年の齊藤にこそさんが小学校在校生を代表して、中学校3年の松本來夢さんが中学校在校生を代表して歓迎のことばを述べ、新入生を代表して中学生の渡部勇さんが誓いのことばを述べました。

今年度の町立学校は南小学校児童が16人、北小学校児童が19人、双葉中学校の生徒が12人の計47人で新年度がスタートしました。



▲ 新入生入場



▲ 在校生による歓迎のことば



▲ 誓いのことば



4月15日、町立学校仮設校舎体育館で、合同ふれあい集会在行われました。ふれあい集会は幼稚園児・小学生・中学生がレクリエーションなどを通じて親睦を深める集会で、児童、生徒が力を合わせて準備や進行をつとめました。

初めに、今年度の新入園児・新入生が花のアーチをくぐって入場すると、上級生や先生方から大きな拍手が贈られました。堀内弘志ふたば幼稚園長のあいさつのあと、レクリエーションで新入園児・新入生と上級生が親睦を深めました。

レクリエーションの1つ目はじゃんけん列車で、2つ目は「猛獣狩りに行こうよ（双葉町バージョン）」でした。双葉町にちな

幼・小・中

ふれあい集会



んだキーワードの文字数の人数を手をつないで集めるレクリエーションで、ダルマ市、マリリンハウス、清戸迫古墳と文字数が増え、園児・児童・生徒の輪も大きくなっていきました。3つ目のレクリエーションは、オニ役の中学生と1人ずつリレー形式で勝つまでじゃんけんをするというチーム対抗戦で、最後のチームがゴールするまで皆で大きな声援を送っていました。

ふれあい集会は先生たちも参加し、元気な笑い声が体育館いっぱいに響いていました。集会の最後には、ピアノ伴奏に合わせて幼稚園歌、南・北小学校校歌、中学校校歌をそれぞれ歌い、南小学校5年生の草野綾介くんが「一日でも早く僕たちの名前を覚えて、一緒に遊んでください」と上級生を代表してあいさつしました。

ご入園おめでとうございます



ふたば幼稚園入園式



▲ 在園児による歓迎のことば

4月8日、町立学校の入学式の後、同敷地内のふたば幼稚園で入園式が行われました。新入園児が保護者と一緒に入場し、在園児が元氣よく園歌を斉唱しました。新入園児は堀内弘志園長から名前を呼ばれると元氣に返事をしていました。堀内園長の式辞、館下明夫教育委員会教育長の教育委員会告辞に続き、伊澤



史朗町長、佐々木清一町議会議長が祝辞を述べ、歓迎のことばでは在園児が大きな声で新入園児を歓迎しました。新入園児は5歳児クラスが1人、4歳児クラスが1人、3歳児クラスが1人で、在園児と合わせると7人で今年度の園生活をスタートしました。

平成31年度

双葉町幼稚園就園奨励費および給食費等補助制度について

双葉町では、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故により被災した保護者の皆さまの経済的負担軽減のため、お子さんを幼稚園等に就園させている保護者の方に対して、入園料と保育料および給食費と教材費の一部について補助を行います。

補助の対象となる方

次の要件をすべて満たしている方

- 1：公立幼稚園、私立幼稚園、幼稚園型認定こども園（ただし、1号認定のみ対象）に通園している園児の保護者
- 2：1の園児及び保護者は、平成31年4月1日現在双葉町に住民登録をしていること

※令和元年10月より幼児教育無償化が予定されています。補助金支給の形も大幅に変更されると思われます。詳細は分かり次第お伝えいたします。

※満3歳児保育も対象となりますが、誕生日の月から補助対象となります。下記問い合わせ先までご連絡の上、資料の請求をお願いいたします。

【問い合わせ先】 双葉町教育委員会 教育総務課 ☎0246-84-5210

集まれ！ふたばっ子2019のお知らせ

将来の双葉町を担う小、中、高校生及び保護者の皆さまに再会の機会を設け、双葉町民としての意識や自覚を持ち、絆の維持に努めることを目的として「集まれ！ふたばっ子2019」を開催いたします。

○期 日

7月13日(土)～14日(日) 1泊2日

【1日目】受付 12:30

【2日目】解散 10:30

※解散後、希望者は那須ハイランドパークへ向かいます。

○場 所

【1日目】那須りんどう湖レイクビュー

【2日目】那須ハイランドパーク(希望者)

○宿泊場所 ホテルサンバレー那須

☎0287-76-3800

○申し込み

申し込み方法や詳しい内容については、別途、郵便にてご案内いたします。

○主な内容

【1日目】・開会式
・体験活動
・写真撮影
・オリエンテーリング
・夕食
・プール、温泉(自由参加)

【2日目】・閉会式
・双葉町伝統芸能体験
・那須ハイランドパーク(希望者)



ボランティア募集について

今年の「集まれ！ふたばっ子2019」では、初めてボランティアを募集します。当日は活動のサポートをお願いする予定です。双葉町の若い皆さんのパワーが絆づくりにつながります。ふるってご応募ください。

- ボランティア対象者 …… 平成8年4月2日～平成13年4月1日生まれの方。
- 申し込み及び詳細 …… 別途、郵送にてご案内いたします。

【問い合わせ先】 双葉町教育委員会 教育総務課 ☎0246-84-5210

タイムカプセル情報提供のお願い

双葉町では双葉町立双葉南小学校、双葉北小学校で埋設したタイムカプセルの情報提供をお待ちしています。下記のような情報がありましたら、双葉町教育委員会教育総務課までご連絡ください。

- タイムカプセルを制作した方々の卒業年度
- 埋設した場所や管理の状況



双葉町教育委員会 教育総務課 ☎0246-84-5210 FAX 0246-84-5248
Mail: kyouiku@town.futaba.fukushima.jp

＊ 2019年春の全国交通安全運動が実施されます ＊

この運動は、広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、県民自身による道路交通環境の改善に向けた取り組みを推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的として実施されます。

下記の期間に行われる運動は福島県内で行われますが、県外の避難先でも交通安全運動が実施されますので、交通事故防止に努めましょう。

●期 間：2019年5月11日（土）～5月20日（月）

●交通死亡事故ゼロを目指す日：5月20日（月）

●スローガン

とび出さない いったんとまって みぎひだり

●運動の重点

- ①子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- ②自転車の安全利用の推進（福島県：福島県自転車安全利用五則の周知徹底）
- ③全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ④飲酒運転の根絶



【問い合わせ先】 住民生活課 ☎ 0246-84-5206

福島さわやか行政相談キャンペーン 【5月1日～31日】



山本 一弥さん
(いわき市在住・石熊)

- 総務省では、双葉町を担当する行政相談委員として、山本一弥さんを委嘱しております。
- 行政相談委員は、総務大臣が委嘱した有識者で、地域住民の皆さんから国の行政全般に関する意見・要望を受け付け、皆さんと関係行政機関等との間に立って、その解決を促進するよう相談に応じています。
- 5月1日（水）から31日（金）までの1カ月間は「福島さわやか行政相談キャンペーン」期間です。

【連絡先】 山本 一弥 ☎ 090-4884-0753
福島行政監視行政相談センター ☎ 024-534-1101

◆◆ 6月1日は、人権擁護委員会が施行された日です ◆◆

昭和23年、政令に基づいて人権擁護委員制度が設けられ、翌24年6月1日に人権擁護委員法が施行されたことにより、人権擁護委員制度が誕生しました。法務省及び全国人権擁護委員連合会は、人権擁護委員法が施行された日を記念して、毎年6月1日を「人権擁護委員の日」と定め、6月1日を中心に、人権擁護委員が皆さんの町で特設人権相談所を開設して人権相談に応じたり、全国的な啓発活動を実施しています。

6月4日（火）は双葉町いわき事務所にて、10時から15時まで特設人権相談所が開設されます。

相談は無料で、秘密は厳守します。困りごとや悩みごとなどお気軽にご相談ください。

また、「人権擁護委員の日」に限らず、電話相談を実施していますので、悩みごとがありましたら下記のダイヤルにお電話ください。

- ・みんなの人権110番 ☎ 0570-003-110
- ・子どもの人権110番 ☎ 0120-007-110
- ・女性の人権ホットライン ☎ 0570-070-810

前納報奨金制度の廃止のお知らせ

平成31年度から『個人の町民税の前納報奨金制度』を廃止します

この制度は、税収の早期確保や納税意識の向上等を目的に創設されたものですが、導入時の目的が達成されたことや、住民税の特別徴収者には適用されないなど、納税者間の不均衡により、公平性の観点から多くの自治体が廃止しております。

このような状況を踏まえ当町においても平成31年度より個人の町民税の前納報奨金制度を廃止しますのでご理解いただくとともに、今後も引き続き納期内の納付にご協力をお願いします。

これまでどおり全期前納で一括納付することができます

前納報奨金制度は廃止されましたが、これまでと同様に個人の町民税の全期分を一括で納付することができますので、よろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】 戸籍税務課 ☎ 0246-84-5204

平成31年度 町税の免除、減免等について

双葉町では、東日本大震災及び原子力災害を受けた納税義務者等の納付すべき平成31年度の各税目について、次のとおり免除・減免をいたします。

○対象税目

個人町県民税、法人町民税、固定資産税、
軽自動車税、国民健康保険税

○個人町県民税（個人住民税）

平成30年中の所得により、下表のとおり減免となります。
※所得による減免は平成30年度と変更ありません。

平成30年中の合計所得金額 （目安の給与収入※1）	減免の割合
500万円以下（688万円）	10分の10
500万円を超え750万円以下 （688万円～966万円）	10分の5
750万円を超え1000万円以下 （966万円～1220万円）	4分の1
1000万円超（1220万円～）	10分の1

なお、居住住宅の損壊の程度による減免は平成31年度分より適用されません。平成31年度は所得要件のみで減免の割合が決定されますので、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

※家屋被害認定調査の判定結果による、平成23～30年度分に遡っての納付済町県民税の税額（減免割合）変更（還付）はこれまでどおり行います。

※1 この表における目安の給与収入とは、給与所得以外の所得がない場合の金額です。

○法人町民税

東日本大震災及び原子力災害により休業等となった法人について、休業届の提出があった法人（平成31年1月から平成31年12月までに決算期を迎える法人に限る。）……均等割相当額の全額減免

○固定資産税

- 土地、家屋に係るもの（町長が指定する区域にあるもの）……全額免除
- 償却資産に係るもの（町長が指定する区域にあるもの）……全額減免

○軽自動車税

- 平成31年4月1日現在で、避難指示区域に放置された原動機付自転車、軽自動車、小型特殊自動車、2輪の小型自動車……全額減免

○国民健康保険税

被保険者全世帯……全額減免

【問い合わせ先】

戸籍税務課 ☎ 0246-84-5204

●●●● 平成31年度 軽自動車納税通知書について ●●●●

平成31年度の軽自動車納税通知書を発送いたしましたので、お手元に届きましたら車両番号などの内容をご確認ください。

現金により納付される方は、コンビニエンスストアで納付できます。なお、納期限は5月31日(金)です。

【減免について】

※平成31年4月1日現在、避難指示区域内に放置された車両については、減免の対象となりますので、該当する方には、「軽自動車減免申請書」を送付いたしますので、いわき事務所戸籍税務課までお問い合わせください。

※減免となった車両については、事務処理後に納税証明書を送付いたします。車検期間が間近になっている場合は、お早目にご連絡ください。

※平成23年3月12日以降に登録された車両を除く原付二輪・農耕用車両などの「双葉町」ナンバー及び250CC以下のバイクについては、すでに減免として取り扱っております。

【問い合わせ先】 戸籍税務課 ☎ 0246-84-5204

平成31年度 自動車の定期課税のお知らせ

**納期限は
5月31日
(金)です**

自動車税は、毎年4月1日午前零時現在で車検証上の所有者（割賦販売の場合は使用者）に課税されます。

平成31年度自動車税の納税通知書は、5月8日（水）に発送する予定ですので、5月31日（金）の納期限までに忘れずに納付してください。

なお、避難先等へ郵便物の転送を希望される方は、最寄りの郵便局へ「転居届」の提出をお願いします。

【問い合わせ先】 相双地方振興局 県税部課税課 ☎ 0244-26-1127

灯油、混合油、ガソリンなどの廃油回収について (継続のお知らせ)



環境省
双葉町住民生活課

環境省による、ご自宅等に残置された灯油、混合油、ガソリンなどの回収については、平成31年4月以降も継続いたしております。回収をご希望の方は下記申込み先までご連絡ください。

なお、環境省による廃油等の回収・処分を希望される場合の費用負担は発生しません。ご理解・ご協力をお願い致します。



【申込み先】 東京電力ホールディングス（株）双葉町グループ

【電話番号】 080-6847-2986

【受付時間】 午前9:00～12:00、午後1:00～5:00
(土・日・祝日を除く)



町職員の人事異動

平成31年4月1日付けで異動がありました。
()内は旧職名等です。

◆新規採用職員

- ▽総務課 中村あき子
- ▽建設課 井上裕智
- ▽教育総務課 児玉雄一
- ▽健康福祉課 渡部裕太

◆昇格・昇任・異動

- ▽参事兼健康福祉課長兼青年婦人会館長 舶来丈夫 (総務課長)
- ▽総務課長 平岩邦弘 (復興推進課長)
- ▽秘書広報課長 鈴木健一 (生活支援課長)
- ▽復興推進課長 大浦富男 (健康福祉課長兼青年婦人会館長)
- ▽生活支援課長 朝田幸伸 (生活支援課・主幹兼郡山支所長)
- ▽教育総務課・課長補佐兼総務係長兼学校教育係長 大浦寿子 (戸籍税務課・課長補佐兼戸籍係長)
- ▽住民生活課・課長補佐兼婦町準備係長 中里俊勝 (建設課・課長補佐兼用地調整係長)
- ▽戸籍税務課・課長補佐兼管理徴収係長 相樂定徳 (総務課・課長補佐兼行政係長兼管財係長)
- ▽総務課・課長補佐兼管財係

長 橋本靖治 (秘書広報課・課長補佐兼秘書広報係長)

- ▽生活支援課・課長補佐兼総務係長 愛沢隆志 (出納室・主任主査兼検査係長)
- ▽産業課・課長補佐兼商工労働係長 志賀寿三 (産業課・主任主査兼商工労働係長)
- ▽健康福祉課・課長補佐兼国保年金係長 高橋春枝 (議事事務局・主任主査兼総務係長兼議事係長兼調査係長)
- ▽出納室・課長補佐兼検査係長 鶴沼浩二 (健康福祉課・主任主査兼国保年金係長)
- ▽総務課・主任主査兼財政管理係長 木幡勝 (総務課・主任主査兼財政係長)
- ▽復興推進課・主任主査兼復興推進係長 横山敦 (戸籍税務課・主任主査兼賦課係長兼管理徴収係長)
- ▽議事事務局・主任主査兼総務係長兼議事係長兼調査係長 加村めぐみ (教育総務課・主任主査兼総務係長)
- ▽総務課付・一般社団法人ふたばプロジェクト派遣 石上崇 (復興推進課・主任主査兼復興推進係長)
- ▽総務課・財政計画係長 富澤和績 (復興推進課・原

子力対策係長兼賠償対策係長

- ▽戸籍税務課・賦課係長 吉津雄一郎 (戸籍税務課・主査)
- ▽産業課・農林土木係長 大和田千歳 (産業課・主査)
- ▽総務課・行政係長 岡田浩行 (総務課・主査)
- ▽産業課・主査 櫻井清 (茨城県かすみがうら市) (生活支援課・主査) (期間延長 令和2年3月31日)
- ▽秘書広報課・主査 守谷信雄 (住民生活課・主査)
- ▽建設課・主査 秋元大輔 (復興推進課・主査)
- ▽住民生活課・副主査 森山和久 (総務課・副主査)
- ▽産業課・副主査 森田洸平 (戸籍税務課・副主査)
- ▽住民生活課・副主査 西牧孝幸 (建設課・副主査)
- ▽生活支援課・副主査 大島由久 (総務課・副主査)
- ▽復興推進課・副主査 赤石澤幸也 (生活支援課・副主査)
- ▽生活支援課・副主査 佐々木理奈 (住民生活課・副主査)
- ▽戸籍税務課・主事 田中優馬 (秘書広報課・主事)
- ▽復興推進課・主事 比佐和寛 (総務課付・福島県後期高齢者医療広域連合派遣)
- ▽総務課・主事 井戸川俊 (復興推進課・主事)

◆再任用職員

- ▽生活支援課・主幹兼郡山支所長 松本信英 (任期延長 令和2年3月31日)
- ▽秘書広報課・主幹 板倉幸美

◆任期付職員

- ▽建設課 島崎雄司
- ▽住民生活課 岡田浩寿
- ▽教育総務課 井戸川雄太郎
- ▽戸籍税務課 黒澤綾乃
- ▽建設課 佐々木次男 (任期延長 令和2年3月31日)
- ▽建設課 植田聡 (任期延長 令和2年3月31日)
- ▽建設課 牧野珠美 (任期延長 令和2年3月31日)
- ▽建設課 中澤由貴枝 (任期延長 令和2年3月31日)

◆派遣期間の満了

- △福島県派遣職員▽
- ▽角田春子 (健康福祉課・主幹兼総括主任保健師) (生活支援課兼務・郡山支所) (主任保健師)
- ▽砂場公子 (健康福祉課・主任保健師)

◆福島県派遣職員

- ▽産業課・主査 佐藤照智
- ▽健康福祉課・主任保健師 岩瀬由美 (平成31年4月2日付)
- ▽健康福祉課 (生活支援課兼務・郡山支所) 主任保健師 家木真由美

◆市町村等派遣支援職員

- ▽建設課 (復興推進課兼務) 春川信二 (新潟県柏崎市)
- ▽秘書広報課 中山尚美 (富山県黒部市)
- ▽教育総務課 浅妻瞬 (福井県敦賀市)
- ▽教育総務課 吉田千賀男 (茨城県北茨城市) (期間延長 令和2年3月31日)

- 長 令和2年3月31日
- ▽住民生活課 平智昭 (茨城県石岡市)
- ▽総務課 渡部辰幸 (神奈川県) (期間延長 令和2年3月31日)

◆退職 (平成31年3月31日付)

- ▽板倉幸美 (秘書広報課長)
- ▽塩澤匠 (産業課・主事)

◆任期の満了

- △再任用職員▽
- ▽武内裕美 (総務課・総括参事)

△市町村派遣支援職員▽

- ▽金子剛 (新潟県柏崎市) (復興推進課)
- ▽宮津健 (富山県黒部市) (秘書広報課)
- ▽中瀬豪規 (福井県美浜町) (産業課)
- ▽東出亮大 (福井県敦賀市) (教育総務課)
- ▽生田目俊幸 (茨城県石岡市) (健康福祉課)

職員紹介



春川 信二
(柏崎市)



中山 尚美
(黒部市)



浅妻 瞬
(敦賀市)



平 智昭
(石岡市)



中村 あき子



井上 裕智



児玉 雄一



渡部 裕太

【市町村派遣職員】

【新規採用職員】



家木 真由美



岩瀬 由美



佐藤 照智

【福島県派遣職員】

平成31年度 双葉町の復興支援員(ふたさぽ)を紹介します

4月1日、伊澤史朗町長から5人に委嘱状が交付されました。

今後、復興支援員(ふたさぽ)が新たに加わった場合は、広報ふたばやコミュニティ情報紙ふたばのわでお知らせします。



いろいろな場所
で皆さまにお会いし
お話しできることを
楽しみにしています

広報支援

取材を行い広報物を作ります

- ・コミュニティ情報紙ふたばのわ
- ・ニュースふたば(動画)
- ・ありがとうメッセージ(動画)
- ・伝統芸能保存プロジェクト(動画等)
- ・双葉町情報FMいわき発(ラジオ)への定期出演

【問い合わせ先】 秘書広報課 ☎0246-84-5202

復興支援員(ふたさぽ)とは・・・

各地で行われるさまざまなイベントなどにうかがわせていただきます。

コミュニティ支援

ヒアリングを通じて、現在に皆さまの必要なコミュニティ支援活動のあり方を一緒に考えます。



【問い合わせ先】 生活支援課 ☎0246-84-5200

長塚一行政区

総会・交流会



タブレットのふたばアプリ内、コミュニティ広場↓ふるさと広場↓長塚一行政区に総会の写真を掲載しますのでご覧ください。

平成31年 長塚一行政区総会



3月17日、18日、いわき市小名浜オーシャンホテルにおいて長塚一行政区の総会・交流会が開催されました。天候に恵まれ31人の方々が各避難先から参加されました。

総会は、区長のあいさつに続き、震災後亡くなられた方々の冥福を祈り黙とうを捧げました。続いて、平成30年度の事業報告、決算報告及び監査報告が行われました。

本年度は公務の伊澤史朗町長に代わり金田勇副町長にお願いいただき、駅西地区、中野地区復興産業拠点、企業誘致の状況等、町政について最新の情報の説明をしていただきました。

交流会では懐かしい故郷の思い出を語り合い、懇親を深め次の開催を誓いました。

三字行政区

総会・交流会



3月24日(日)、25日(月)、いわき市湯本温泉「吹の湯」において、三字行政区の総会・交流会を開催し、県内外の避難先から28人の方々に参加いただきました。

総会は全員の黙とうに始まり、伊澤和夫区長が参加のお礼などを述べ挨拶した後、伊澤史朗町長から町の現状と今後の復興計画を交えて挨拶をいただきました。

次に、環境省から「除染及び家屋解体工事について」の説明をいただきましたが、その中で農地の除染については、保全管理の体制が整わないと進められない事を知らされ、今後行政区で取り組むべき大きな課題と受け止めました。さらに、東京電力復興推進室双葉町グループから行政区内の復興活動状況など活動内容について説明をいただきました。

議事では、議長を佐藤八州夫副区長にお願いし、平成30年度の事業報告、会計報告が全て承認されました。2019年度の事業計画も承認された後、双葉町復興支援員から「双葉町伝統芸能保存プロジェクト」で三字の神楽及び女宝財踊りを記録に残すため、内容説明がありました。総会終了後、昨年獅子頭が新調された報告も兼ね、三字芸能保存会による神楽の舞が披露されました。その後全員が入って写真撮影を行い、交流会では今回初めて来賓として伊澤史朗町長及び金田勇副町長にもご出席いただきました。

宴会は金田副町長のご挨拶に続き、岩本久人副議長の乾杯の音頭で始まり、酒が入るほどに和やかに話も弾み、カラオケなどで盛り上がり時の経つのも忘れるほど大盛況でした。さらに、名残惜しむように二次会にも多くの方々が参加され夜遅くまで話は尽きませんでした。翌日は、朝食を終えたところで、また来年の再会を楽しみにねと口々に別れを惜しみつつ、それぞれ避難先への帰路につきました。



恩師を囲んで

(昭和39年度双中卒交流会)

去る4月9日、福島市のホテル福島グリーンパレスにおいて、昭和39年度に双葉中学校を卒業した同級生で、福島市内に嫁がれた方や双葉町から福島市近辺に避難されている方など10人が、浪江町から福島市に避難されている恩師の門馬孝義先生を囲んで交流会を行いました。

交流会に先立ち、参加者は、自己紹介をしながら先生と握手し、再会を喜びあっていました。

先生は、双葉中学校において国語の教諭として9年間、また、教頭として3年間、教鞭をとられました。教員生活40年のうちで、双葉町で接してきた生徒や保護者の皆さんが一番印象に残っていると話されておりました。

先生の齒に衣着せぬ話し方は、今も変わっていませんでしたが、それが教え子にとっては、懐かしき言葉の奥に愛を感じさせるものがありました。

交流会では、先生から当時の先生方の消息や双葉中学校在職中の苦労話を話されるところに、懐かしい思い出に花が咲き楽しいひと時を過ごしていました。

参加者は、今年、古希を迎えましたが、先生は、来年米寿を迎えます。お互いに健康長寿を願いながら、再会を誓い散会しました。

大川義秋さん(下条) 香音アンサンブル コンサート

双葉町出身の箏奏者大川義秋さん(下条)が、ギターや中国箏とコラボし、飯舘村「ふれ愛館」ホールにてコンサートを開催いたします。

入場無料(予約要)ですので、ご家族ご友人などお誘い合わせの上、お越しください。

香音アンサンブル「好きだ! 飯舘コンサート」

■日 時：2019年6月8日(土)

【開場】13:00 【開演】13:30

■料 金：入場無料

■ご予約方法：飯舘村生涯生活課(下記)までお電話にてお申し込みください。

☎0244-42-0072

■場 所：飯舘村交流センター「ふれ愛館」ホール
福島県飯舘村草野字大師堂171



双葉ふれあいクラブからのお知らせ

第6回双葉町民交流パークゴルフ大会



○日 時

6月8日(土) ※小雨決行

受付開始時間：午前8時30分

開会式：午前9時

競技開始：午前9時30分

閉会式：午後1時30分

○場 所

いわき市鮫川河川敷公園コース
(植田公民館裏側)

○申込締切… 5月31日(金)

○参加費… 無料

○対象者… 小学3年生以上の方

○定 員… 100人程度

○競技方法… 36ホール ストロークプレー

○表彰… 男女別1～3位、
ホールインワン賞、ブービー賞、
最高年齢賞、最少年齢賞

○その他… ・閉会式前に昼食の時間をとりますので、お弁当(500円)の斡旋も行います。
希望される方は参加申し込み時にご注文ください。代金は当日受付でお支払い
ください。

・保険については、参加者全員にふれあいクラブで加入しているイベント共済を
適用しますが、それ以上の補償はありませんので、あらかじめご了承ください。

子どもから高齢者の方まで楽しめるスポーツ
です。道具をお持ちでない方にはふれあいクラ
ブで準備しておりますので、初心者の方も気軽
にご参加ください。

【申し込み・問い合わせ先】

NPO法人双葉ふれあいクラブ

☎ 0246-38-3325

FAX 0248-21-6188

福島地方法務局 富岡出張所

「出張窓口」開設日変更のお知らせ

福島地方法務局富岡出張所では毎月第1・3木曜日に出張窓口を開設していますが、
5月は第1木曜日が祝祭日に当たることから5月9日(木)・5月16日(木)に
出張窓口を開設します。

●場 所 福島地方法務局富岡出張所庁舎(双葉郡富岡町小浜字554番地7)

●時 間 午前10時から午後3時まで

登記に関するご相談は、予約制です。 予約先 ☎ 0246-35-5670

※お住まいの近くの法務局でも相談できます。

※福島地方法務局富岡出張所はいわき合同庁舎内において通常業務を行っております。

【問い合わせ先】 福島地方法務局総務課 ☎ 024-534-1983

環境省 福島地方環境事務所からのお知らせ ～中間貯蔵施設について～

◇ **輸送について** 双葉町内中間貯蔵施設の受入・分別施設等への輸送の状況は下記のとおりです。

- ・ 2018年度は、550,190m³搬入しました。(2015年からの累計は911,294m³)
- ・ 2019年は、27,617m³搬入しています。(4月15日現在)

▶ 4月27日～5月6日までの期間は、輸送を休止いたします。

◇ **施設について** 各施設の状況等をお知らせします。

双葉2期②工区土壌貯蔵施設(双葉町大字郡山字陣場沢) (2019.3撮影)



施設の全景



造成完了、遮水工施工中

◇ **環境安全委員会について**

3月27日に福島県、双葉町及び大熊町等の委員からなる中間貯蔵施設環境安全委員会(第14回)が開催され、工事や輸送の状況等について報告しました。

引き続き安全確保に努めて中間貯蔵施設事業に取り組んでまいります。

◇ **保管場及び陳場下交差点の放射線監視**

▶ 空間線量率の測定により、除染土壌等の搬入による周辺への影響は見られないことが確認されています。今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。

▶ 中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO(中間貯蔵・環境安全事業株式会社)のHPで公表しております。(URL) <http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html>



【問い合わせ先】福島地方環境事務所 中間貯蔵部 中間貯蔵総括課 ☎ 024-563-1293

平成31年度 国家公務員「税務職員採用試験」(高校卒業程度)のお知らせ

仙台国税局では、税務のスペシャリストとして活躍するバイタリティーあふれる税務職員を募集しています。

国の財政を支える税務職員に、あなたもチャレンジしてみませんか？

○受験資格

1. 平成31年4月1日において高校卒業後3年を経過していない者及び令和2年3月までに高校を卒業する見込みの者
2. 人事院が1に掲げる者に準ずると認める者

○受験申込受付期間

6月17日(月)から6月26日(水)まで

○受験申込方法

受験申込みはインターネット申込みとする。

国家公務員試験採用情報NAV I (<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>)

○第1次試験日

9月1日(日)



【試験に関する問合せ先】 仙台国税局人事第二課試験研修係
人事院東北事務局

☎ 022-263-1111 内線3236
☎ 022-221-2022

「望まない受動喫煙」をなくそう

～ 5月31日は世界禁煙デーです ～

1 日本の喫煙率

2018年成人喫煙率（JT全国喫煙者率調査による）（％）

	性別	20代	30代	40代	50代	60代	全年齢
昭和41年 (喫煙率のピーク)	男	83.5	84.8	87.3	83.4	78.0	83.7
	女	10.6	14.3	22.0	24.1	24.1	18.0
平成30年	男	23.3	33.1	35.5	33.0	21.3	27.8
	女	6.6	11.1	13.6	12.0	5.4	8.7

国内での喫煙率ピーク時だった昭和41年と比較すると、全年齢で男性では55.9ポイント、女性では9.3ポイント低下しています。（調査には加熱式煙草も含まれています。）

2 受動喫煙防止がマナーからルールへ

健康増進法の一部改正により、2020年4月1日から「望まない受動喫煙を防止する取り組み」が始まります。近年登場した加熱式煙草については受動喫煙の害の有無が明らかになっていないということで規制対象となっています。加熱式煙草を使用している本人へは有害だと言うことが分かっています。



参考：受動喫煙対策「なくそう！ 望まない受動喫煙」Web サイト（厚生労働省HP）

生活習慣を見直して健康に

1 生活習慣とは

生活習慣とは、食事・睡眠・運動・排泄・清潔など普段の生活の中で何気なくしている行動のことを指しています。どのような生活習慣を身につけるかは、国や地域などの文化の違い、また、それぞれの家庭やそれぞれの嗜好によっても違ってきます。

2 生活習慣病とは

かつて「がん・心臓病・脳卒中」など40歳前後から増加する病気の総称として1957年から「成人病」という名称が使われていました。それから、成人病と言われる病気の原因が、生活習慣にあることや40歳前後に満たない若年者にも発症することが増えてきたことなどを受け、不適切な生活習慣により引き起こされる病気（糖尿病、高血圧症、脂質異常症、脳卒中、心筋梗塞、がんなどの病気など）を総称して1996年から「生活習慣病」と呼ばれるようになりました。

最近よく耳にする「メタボリックシンドローム（Metabolic Syndrome:代謝異常症候群）」は、生活習慣病を引き起こす要因を多く含む状態です。

【メタボリックシンドロームの該当基準】

腹囲（へその高さの位置）：男性85cm、女性90cmを超える

+

① 脂質：中性脂肪150mg/dl以上、HDLコレステロール40mg/dl未満

② 血圧：収縮期血圧（上の血圧）130mmHg以上、拡張期血圧（下の血圧）85mmHg以上

③ 血糖：空腹時血糖110mg/dl以上

腹囲の条件に、①～③のうち2つ以上に該当

メタボリックシンドロームの状態は、身体からの「SOSサイン」です。それは、ご自身が元気にいきいきと生活するための、身体からの大切なメッセージです。

3 見直すべき生活習慣とは

運動 一日にどのくらい体を動かしていますか。体を動かすことで、臓器や血管を丈夫にする効果があります。普段の姿勢を良く保つだけでも体の代謝は改善します。また、歩くことは血流を良くし全身を整えることに効果的です。

睡眠（休息） 寝る前に携帯電話やパソコンなど使っていませんか。良質な睡眠のためには就寝前の1時間は携帯電話やパソコンは使用しないようにしましょう。良質な睡眠は体と心を整えます。

食事 食べ過ぎ、早食い、偏食などしていませんか。食べ方でその人の生き方が見えてきます。カタカナのものばかり食べていませんか。くれぐれも、それが病気となって現れることは避けたいですね。

生活習慣改善について、食事・睡眠（休息）・運動をシリーズでお知らせしていきます。

参考：生活習慣病（厚生労働省HP）

生活習慣病を知ろう スマートライフプロジェクト（厚生労働省HP）

メタボリック症候群が気になる方のための健康情報サイト（e-ヘルスネット）

双葉町社会福祉協議会

～ 5月健康運動教室、社協サロン開催のお知らせ～

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。お気軽にご参加ください。

会 場	問い合わせ・申込先	開催月日	時 間
健康運動教室 （内容：健康講話、相談、運動機能の維持・向上等）			
南東北総合卸センター 2階第6会議室 （郡山市喜久田町卸 1丁目 1-1）	郡山事務所 ☎ 024-973-5291	毎週 木曜日 ※祝日を除く	13:30～15:00
県北保健福祉事務所 すこやかルーム （福島市御山町 8-30）		5月28日(火)	

社協サロン（内容：健康体操、講話、相談、生きがいづくり、交流等）

※参加を希望される方は昼食準備のため、事前申込みをお願いします。

白河市中心老人福祉センター 会議室 （白河市北中川原 313）	郡山事務所 ☎ 024-973-5291	5月14日(火)	10:30～14:30
かしま交流センター 大ホール （南相馬市鹿島区横手字川原 186-1）	本部事務局 ☎ 0246-84-6725	5月29日(水)	11:00～14:30

消防署からののお知らせ

山火事予防にご協力をお願いします！

暖くなるこの時季は、行楽や野外での活動に適したシーズンとなり、山林への人の出入りや、野外で火を使う機会が増えることなどもあり、**山火事発生**の危険性が高くなります。



山火事発生の原因

落雷など自然現象によるものはまれで、**人の不注意**などによるものがほとんどです。ちょっとした不注意による「**小さな火**」から起こる火災を減らしていくことが大切です。

次のポイントを守り、山火事予防にご協力をお願いいたします！



- 強風時及び乾燥時にはたき火、野焼きをしない
- たき火、野焼きをする際は**消火器具を準備する**
- たき火や野焼きをするときは**周囲にも知らせ、一人で行わない**
- タバコの吸い殻は**必ず消す**とともに、**投げ捨てをしない**



平成31年度 全国統一防火標語 **【ひとつずつ いいね！で確認 火の用心】**

**火事と救急は
119番**

＜消防署連絡先＞

・浪江消防署 ☎ 0240-34-4111





双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りの一部をご紹介します

ワイ ワイ

YoY 交流会 in 太田市 (3月30日)

当日は曇りで、風はなかったものの気温も7度台と低いままで花冷えでした。

集合場所だった太田市北部運動公園では、4月5日から「おおた芝桜まつり」が開催される予定で、芝桜の時期よりは少し早く、また桜も27日に前橋市の開花宣言があったばかりでした。

東日本大震災でも足尾銅山での公害物質が渡良瀬川に流れ出したこともあり「祈念鉾毒根絶の碑」に立ち寄りました。

その後、昼食では「ナスの蒲焼重」「太田焼きそば」を各人の好みで注文し食べました。茄子の蒲焼はあっさりしていて美味しくいただき、焼きそばは昔懐かしい味だったようです。

続いて、鎌倉幕府を滅ぼした新田義貞公の神社「生品神社」、3代目将軍徳川家光が日光から移築した「世良田東照宮」、太田市を離れ伊勢崎市にある世界遺産富岡製糸場と絹産業遺産群の一つ「田島弥平旧宅」に立ち寄りました。田島弥平旧宅では、天明3(1783)年の浅間山噴火により浅間石が多くの遺体とともに流されてきたことも知り、災害への備えの重要性を知らされました。

最後に、中島飛行機(現在のSUBARU)の創設者中島知久平宅へ。宮殿建築としての特徴がある群馬を代表する近代和風建築で、太田市の重要文化財・国の重要文化財に指定されていますが、昭和22年のカスリーン台風洪水による床上浸水(水位は1.5mほど)で、ふすまや壁紙等への浸水跡が残っていて、防災の意識・避難の重要性を感じることができました。

今回のYoY交流会は歴史や、防災の重要性を感じました。参加者の皆さま、ありがとうございました。

千吉良 高志(三字)



人のうごき3月分

敬称略

お誕生おめでとうございます

氏名	生年月日	保護者	行政区
相川 紡衣 あいかわ つむぎ	2月23日	允孝・薫	新山
宇名根陽真 うなね はるま	2月28日	大志・真奈美	山田
石田 心春 いしだ こはる	3月22日	良・南海	長塚二

お悔み申し上げます

氏名	年齢	死亡日	行政区
西野 ミツ	97	3月3日	長塚二
佐藤八重子	85	3月8日	両竹
飯野 正一	67	3月13日	長塚二
岡戸 イツ	97	3月21日	新山
渡邊 昭子	87	3月20日	郡山

双葉町民の避難状況 (平成31年3月31日現在)

- ・福島県内に避難されている方 4,080人
- ・福島県外に避難されている方 2,799人

※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示しています。

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、死亡の方の名前を掲載しています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご連絡ください。

秘書広報課 ☎0246-84-5202

【文芸】

俳句○春眠や ホーホケキョーに
起こされて

川柳○黄帽子が 列の二番目
通学路

川柳○墓参り 故郷は更地で
天仰ぐ

里謡○弥生三月 早雪消えて
あちこち農夫姿かな

短歌○阿武隈の川面に泳ぐ 白鳥を
しばし足止め 心和みぬ

今泉 禮子(長塚二)

避難先を移動された方へ

避難先を移動された方は「避難住民届」を提出してください。

※移動先の届出がないと、町からの広報紙、各種通知などの郵便物が届かなくなりますのでご注意ください。

【問い合わせ先】 戸籍税務課 ☎0246-84-5204

広報紙の発送について

「広報ふたば」「ふたばのわ」は、1居所につき1部送付しています。

ご家族が別々の場所に引っ越された場合や、同居するようになった場合など、広報紙の発送に関することは下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】 秘書広報課 ☎0246-84-5202

記録として次の世代へ
ふるさと

絆通信

第73号



ずっと、ふるさと。双葉町。



双葉町を忘れない

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして東京電力福島第一原子力発電所の事故により、私たち双葉町民はふるさと双葉町を離れ、今もなお全国に分かれて避難生活を送っています。

先のない不安な生活の中で、町民の皆さんが毎日どのような思いで過ごし、ふるさと双葉町への思いを抱き続けているのかを、皆さんの声をお聴きしながら「ふるさと絆通信」として連載しています。

そして「ふるさと絆通信」を通して、皆さんの双葉町への思いと心の絆がより一層深まることを期待いたします。



「ふるさと絆通信」で

あなたの想いを伝えてみませんか。

ふるさと絆通信では、避難されている皆さんへ想いを伝えていただける方を募集しています。

避難生活での活動や日々の生活の中で感じていること、ふるさと双葉町への想いをこのコーナーでお話ください。双葉町民の方ならどんなでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が町民の皆さんの避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただきます。

掲載する文章は、その内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する必要はありません。

【問い合わせ先】 秘書広報課

☎ 0246-84-5202

わたなべ ひろみ
渡辺 浩美さん

(三字)



●避難先●
福島県郡山市



幻となった「来賓祝辞」

平成22年度、三女は双葉南小学校の6年生となり、それまで娘3人がお世話になったという感謝の気持ちもあって、PTA会長を務めさせていただきました。卒業式では祝辞を読むことになっていたため、平成23年正月あたりからその内容を考え、何度も書き直し、震災前には文面も出来上がり、あとは式を待つだけとなっていました。

地元とは「一心同体」のような感覚

学校も就職先も双葉郡内で、地元を離れて生活することを考えたことはなく、各種地域活動にも「気がつけば参加している」という状態でした。今では考えられないこともかもしれませんが、消防団については、もちろん、並行して正式な手続きは済ませましたが、成人した頃、地区の先輩が私の自宅に持ってきた法被を受け取って「事実上の入団成立」となり、操法訓練等で指導を受けていました。その後、第5分団長や本団訓練分団長を経て、平成27年から町消防団の副団長をさせていただいています。

神楽との出会い

幼い頃、地区の神楽を見ながら、いつかその活動に加わりたいたいと思っていましたが、社会に出て間もなく、三字芸能保存会に受け入れていただくことができました。

神楽の花形である「獅子頭」を希望し、念願叶ってその役をさせていただきましたが、被り物に数人で入り暗く酸素が薄い中、神楽の顎を動かす部分は自身の歯で噛まなければならぬなど大変なこともありましたが、演舞の最後にお招きいただいた方の笑顔に励まされ続けることができました。

7年ぶりとなった神楽の復活

避難後、思うように活動することはできませんが、NPO法人「民俗芸能を継承するふくしまの会」の支援を受け、獅子頭などを揃え、昨年に富岡町で行われた「ふるさとの祭り2018」や、今年1月開催された双葉町ダルマ市で披露するなど、震災後約7年ぶりに復活させることができました。また、3月末に行われた三字行政区の総会では、私たちの演舞を間近で見ただき、なつかしい故郷の雰囲気喜んでいただき感謝無量の思いとなりました。

故郷を繋いでいくために

双葉町では特定復興再生拠点区域を中心に帰還に向けた事業が進められるなど、町の様子が大きく変わりつつあります。そうした中、神楽のような民俗芸能も含め、故郷のバトンをどのような形で後世に渡せるか、双葉町で育った者の一人として考えながら、町づくりに関わっていききたいと思っています。

ぼくの夢・わたしの夢



双葉町立双葉南小学校 6年 おやの まお 小谷野 真央さん(下条)

私の夢は、空港のアシスタントパートナーになることです。

アシスタントパートナーは、お客さんが飛行機に乗る前の手つづきや案内、荷物をあずける手配などをする仕事です。

私は、英語をスラスラ話して、世界中の人とふれあってみたいと思っています。

そして、旅行で空港を利用した人は楽しい思い出が残る様に、仕事で利用した人は笑顔で帰れる様に、一人一人ていねいにせし、どんなときでも笑顔で対応できる人になりたいと思っています。

そのためには、外国に留学などをして英語の勉強をいっしょうけんめいがんばりたいです。

ー 編集後記 ー

今月号は新元号となって最初の広報ふたばです。記念すべき令和となった今月の表紙は、4月16日に行われた双葉町産業交流センターの起工式の様子です。

去年は、桜の開花が全国的に早かったようですが、今年は4月に入っても気温の上がない日が続き、まさに「花冷え」を感じました。写真は4月11日に双葉町内で撮影した桜です。平成最後の町内の桜の写真は、雪とのコントラストが楽しめる珍しい写真となりました。



今月のベストスマイル



3月22日に行われた双葉町立南・北小学校の修・卒業証書授与式閉式後の、渡部勇さん(山田)とご家族の皆さん、恩師の先生の笑顔です。

連絡先

○いわき事務所
〒974-8212
福島県いわき市東田町二丁目19-4

○郡山支所
〒963-8024
福島県郡山市朝日一丁目20-2

○埼玉支所
〒347-0105
埼玉県加須市騎西36-1 加須市騎西総合支所2階

☎ 0246-84-5200
FAX 0246-84-5212
✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp

☎ 024-973-8090
FAX 024-933-5120
✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

☎ 0480-53-7780
FAX 0480-53-7266
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

○双葉町公式ホームページ
<http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>

携帯サイト

<http://www.town.fukushma-futaba.lg.jp/m/>

○双葉町公式ブログ「ブログふたばのわ」
<http://futabanowa.wordpress.com/>

○双葉町復興ポータルサイト

<http://www.futaba-fukkou.jp>

